

会 議 録

会議の名称	第1回 第3期白岡市教育振興基本計画策定委員会
開催日	令和3年7月30日(金)
開催時間	午後3時00分から午後5時00分まで
開催場所	白岡市役所庁舎 4階 特別大会議室
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	田端勇治、依田透、小川哲也、吉村吉美、明野真久、野口晃、野口英夫、柳和志、土屋和葉、石川秀男 10人
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	なし 0人
説明員の職・氏名	学校教育部長 河野彰、参事兼教育指導課長 村松淳一 生涯学習部長 阿部千鶴子、いきいき教育課長 大橋浩明 教育総務課長 岡安久美子 教育総務課 主幹 長島紀彦、主査 山田真規子
事務局職員の職・氏名	教育総務課 課長 岡安久美子、主幹 長島紀彦、主査 山田真規子
その他会議出席者の職・氏名	教育長 長島秀夫 株式会社ぎょうせい 百田楓、村上天悠、増田有希
傍聴者数	4名
会議次第	1 開 会 2 委嘱書の交付 3 挨拶 4 職員紹介 5 委員紹介 6 委員長及び副委員長の選出について 7 会議内容 (1) 第3期白岡市教育振興基本計画の策定について (2) 第3期白岡市教育振興基本計画策定スケジュールについて (3) 第2期白岡市教育振興基本計画の評価について (4) 学校保護者アンケートの速報結果について (5) 第3期白岡市教育振興基本計画に関する意見交換

	8 事務連絡 9 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料 1 白岡市教育振興基本計画策定委員会委員名簿 ・ 資料 2 第 3 期白岡市教育振興基本計画の策定について ・ 資料 3 第 3 期白岡市教育振興基本計画策定スケジュール ・ 資料 4 第 2 期白岡市教育振興基本計画 ・ 資料 5 第 2 期白岡市教育振興基本計画評価シート ・ 資料 6 学校保護者アンケート結果速報値 ・ 第 3 期白岡市教育振興基本計画に関する意見書

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 出席委員 10 名で、定足数に達しているため、第 1 回 第 3 期白岡市教育振興基本計画策定委員会の開会を宣した。
長島教育長	2 委嘱書の交付 委員へ委嘱書を交付した。
長島教育長	3 挨拶 第 1 回 第 3 期白岡市教育振興基本計画策定委員会への出席に対し、謝意を表す。
長島教育長	4 職員紹介 事務局職員を紹介した。

野口委員長	<p>5 委員紹介 委員の自己紹介をした。</p> <p>6 委員長及び副委員長の選出について 推薦により、委員長に野口英夫委員が選出され、副委員長に田端勇治委員が選出された。</p> <p>7 会議内容 (1) 第3期白岡市教育振興基本計画の策定について、及び(2) 第3期白岡市教育振興基本計画策定スケジュールについて、事務局から内容の説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(1) 第3期白岡市教育振興基本計画の策定について、及び(2) 第3期白岡市教育振興基本計画策定スケジュールについて説明した。</p>
野口委員長	<p>説明が終了いたしましたので、皆様から御意見、御主張等がございましたらお願いいたします。</p>
A委員	<p>第6次白岡市の総合振興計画が上位計画に当てはまるということですが、第6次白岡市総合振興計画にどのような案や意見が出ているかというのが分からなければ、ここで議論出来ないと思います。そのあたりの御意見を聞かせてください。もう1点は、具体的に、国や県の教育振興基本計画と、どういう部分で白岡市の計画が関連しているのか教えて下さい。</p>
事務局	<p>第6次総合振興計画との関係性ですが、総合振興計画につきましても「学び楽しむまち」という基本理念のもと、「家庭・地域の教育力の向上」、「学校教育の充実」、「社会教育の向上」という三つの柱で、進めて参りたいと考えております。教育振興基本計画におきましては、さらに、それらの中に含む政策等を確定していきたいと考えております。続きまして、国と埼玉県教育振興基本計画との関係性で</p>

すが、現在、国や県では、これからの大きな社会変化が見込まれる中で、新しい時代に対応する教育を計画に記載しています。白岡市教育振興基本計画におきましても、今後の社会変化に対応できるような計画を作っていければと考えております。

A 委員

総合振興計画が上位計画であって、そこでもこの三つの柱が据えられているというご説明でした。その中でさらに細分化したものが今回の振興計画だということですが、この三つの柱というのがあまりにも漠然としているような気がします。振興計画であれば、教育とは幅広い分野なので、十個くらい柱があってもいいのではないのでしょうか。

野口委員長

御意見ということなので、伺わせて頂きました。ありがとうございます。

B 委員

総合振興計画の会議が何回か行われているのですが、そちらの教育の部分の資料は、今の三つの柱だけではなくて、その中も細分化されているはずですが、ある程度、総合基本計画の中で細分化されたものが出てくる場合、教育振興基本計画との整合性はどのようにとるのですか。

事務局

第6次総合振興計画は今まさに作成中であり、ほぼ同時進行で進んでいる状態です。総合振興計画の方で既に三本柱でいくということまでは決まっていますが、それらを細分化したものを、教育振興基本計画で立てていくと考えています。詳細事項は同時進行で検討しているので、今日はあくまでも課題等をみなさんにお示しし、御意見をいただき、次回の策定委員会で粗々の案をお示しして、そこでまた意見をいただいて、計画案を作り直していこうと考えております。

野口委員長

そういうことで、しばらく間をおいていただきたいと思います。その他にご質問はございますか。

C 委員	<p>上位計画との整合性を保ちたいということですが、次回の委員会は10月になっています。会議終了後に、上位計画を各委員に資料として配るということは可能でしょうか。細分化していくのであれば時間が足りないと思うので、上位計画を各委員に配り、個別にヒアリングシート等で意見聴取を行えば良いと思います。</p>
事務局	<p>第5次総合振興計画を郵送等でお送りし、ご意見を伺いたいと思います。本日の次第の中で、今後の二番と三番の「第2期白岡市教育振興基本計画の評価について」の資料は、第2期白岡市教育振興基本計画の中に含まれている内容を踏まえた課題と評価になっておりまして、この後ご説明いたします。</p>
A 委員	<p>スケジュール的にかなり厳しいと思います。通常、このような協議会や審議会を行う場合、時間が足りないので、小委員会やワーキンググループを作る例が多いと思いますが、そういうお考えはあるかお伺いします。もう一つ、策定スケジュール表の一番下、三月の行政報告は分かりますが、九月の協議報告とは何か教えてください。</p>
事務局	<p>まず策定体制ですが、外部の方を含めたワーキンググループを作る予定はありません。ただ、庁内で教育委員会の各係長レベルの職員が集まって、資料を見ながら、たたき台を作る予定です。もう一点、九月の協議報告ですが、議決案件ではないので、今の段階での取組や途中経過を議会に報告するものです。</p>
野口委員長	<p>いかがですか。他にご質問ございますか。質疑が出尽くしたようでございますので、質疑なしと認めます。事務局のご説明ありがとうございました。引き続きまして、(3)第2期白岡市教育振興基本計画の評価について、(4)学校保護者アンケートの速報結果について、説明を求めます。</p>

事務局

(3) 第2期白岡市教育振興基本計画の評価について、(4) 学校保護者アンケートの速報結果について説明した。

D委員

ゾーニング分析の表はもう少し拡大して見やすく、大事な部分がすぐ分かるようにしてください。

このアンケート対象者が小学校3年、5年、中学2年の保護者ということになると、40歳から50歳くらいだと思いますが、それくらいの年齢だと社会教育に対する必要性は出てきていません。だからそこは関係団体に問うてみないと分からないことだと思います。私の所属団体によると、公民館の活用がまったくできていません。老朽化していて、各施設が小さく、声を出してはいけないことになっているため、今非常に厳しい状況にあります。

学校教育に関しては、パソコン等を活用して、学校教育が大きく変わる、そして求められる人材も変わるという転換点にあります。市としての指導を強化するという方針を固めていただきたい。国内ではなく海外との競争ですから、白岡がモデルになるような教育体制を取っていただければと思います。

学校教育の中では、英語よりも国語でコミュニケーション能力を徹底的に磨くことが重要であり、聞く力、話す力がとても必要になってきます。コミュニケーション能力を伸ばす機会や体制をどう整えるか考える必要があると思います。また、デジタル化が進む中で、教員に求められる資質も変化してくると思います。学校の先生より塾の先生に習った方がよくわかる、という話も聞かれますが、今の子どもにとっては知識を覚えこむだけならば塾の方が効率的です。覚えることの先にある、考える力、協議をする力を教育の現場では評価していくのが良いと感じています。

野口委員長

ありがとうございました。これは御意見ということでよろしいですね。他に御質問ございませんか。

E 委員	<p>第2期白岡市教育振興基本計画の評価シートですが、検証結果の部分に具体的な実施内容がないと何が課題なのかが分からない部分もあるので、具体的な実施内容が記載されていると良かったと思います。特に生涯学習に関しては、計画の途中でこもればの森が出来たあとの変化を上手く検証し、具体的な内容の記載があると良かったと思います。</p>
野口委員長	<p>その他にご質問ございませんか。</p>
C 委員	<p>評価についてですが、「学校教育の充実」では全体的にAが多く、そんなに素晴らしく進んでいるのかなと思います。「特別支援教育の充実」の中に「ノーマライゼーションの理念に基づく教育の充実」とあり、今教育関係にはインクルーシブ教育という分野も出てきていますが、ノーマライゼーションという理念をどのような理念とお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>ノーマライゼーションの理念については、障がいのある子もない子も同じように等しく教育を受けていくことができる体制づくりを目指しています。本市においては、すべての小中学校において、特別支援学級を設置しているほか、通級指導教室を一学級から二学級に増やすなど、推進しているところです。</p>
野口委員長	<p>よろしいですか。</p>
C 委員	<p>理念は、おっしゃった通りで、教育の中に福祉の理念というのが入ってきます。前回の教育振興基本計画の中にも、スクールソーシャルワーカーについて記載がありますが、福祉と教育とはどのような関わりをもっていますか。これは障害児教育だけではなく、不登校、引きこもりにも関わります。教育と福祉にはどのような接点があるのかうかがいます。</p>

事務局	<p>福祉との連携については、市の方でもスクールソーシャルワーカーを県費で配置しているほか、市費でも教育センター付けで配置しています。もちろん様々な福祉との関連というところでは、子育て支援課、福祉課との連携も非常に重要であると考えています。現在は、教育相談連絡会ということで、教育委員会の指導主事と共に、スクールソーシャルワーカーが各学校を学期に一回ずつ訪問して、学校の困りごとやお子さんの状況に福祉が対応できるかどうか、といった話も指導主事と一緒に対応しています。今後もそのあたりについては強化していきたいと考えています。</p>
C委員	<p>ソーシャルワーカーが学期に一回ずつ学校を訪問するということが、生徒たちにとってソーシャルワーカーが学校の先生のように身近になるのでしょうか。身近になって初めてソーシャルワーカーが生きるの、そこが課題だと思います。人権教育も重要ですが、大人たちが作った計画、授業ではなく、子どもたちの学ぶ場所からソーシャルワークを行う。だから、子どもたちに認知され、親しみを感じられるようにならないとソーシャルワークはできないと思います。今後とも努力、計画をしてほしいと思います。</p>
野口委員長	<p>御意見を頂戴いたしました。他にご質問ございますか。</p>
B委員	<p>今回、第5次総合振興計画に基づいて評価をしていますが、第2期白岡市教育振興基本計画でも数値的な目標が立っていると思います。資料には数値的なことが一切書いていません。確かに新型コロナウイルス感染症で公民館の使用人数など、なかなか難しい部分もありますが、やはり数値的な裏付けがないと我々も検討できないと思います。数値的な目標に対する結果はどうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>今年度までの計画ですので、数値的なものについては本来途中経過でも載せるべきだったと反省しております。数値的なものについては途中経過となりますが、追って御報告いたします。</p>

野口委員長	はい、よろしいですか。
B 委員	<p>第 2 期白岡市教育振興基本計画で数値目標を立てた以上は、これに対してどのように取り組んだか、数値的な結果を示して検証を行い目標の立て直しなどの作業を行わなければならないと思います。数値目標に対して、結果が示されないと第 2 期白岡市教育振興基本計画は、絵に描いた餅になってしまうと思います。</p>
事務局	<p>第 2 期白岡市教育振興基本計画として数値目標を立てている限りは、結果をお知らせする義務があると思いますので、途中経過と共に最終的には公表いたします。</p>
A 委員	<p>評価シートに関連して伺います。御説明を聞いた限り、評価は自己評価だと捉えましたが、各課長が責任者ということでよろしいでしょうか。各課で自己評価をしたということでしょうか。通常実績評価などでは、本人が評価をした後に上位の職にある者がその評価が適正かどうかをチェックして、修正を加えると思います。この評価を見ますと、いきいき教育課は無難な評価、教育指導課は自己評価が非常に高い。唯一の救いは、学び支援課が C 評価をつけているということです。期待ができるのは学び支援課さんしかない。しかし、何も知らない人がこの評価を見たら、学び支援課の実績が悪くて、教育指導課が一番優れているように思います。なぜ上位の方が評価の調整をしないのでしょうか。もう一つは、とても残念なことですが、今後の方針を見るとすべて「継続」か「拡充」になっています。これだけ予算が厳しい時代に、役割が終わったものや、効果が出ていないものは「縮小」あるいは「廃止」という評価をして、新規事業を立ち上げるべきだと思います。その辺りについて御意見をお願いします。</p>
事務局	<p>評価は各課で行いまして、その後、各課各部の方でも最終的な確認を行っています。今後の方向性につきましては、今日頂いた御意見を</p>

基に今後検討いたします。ありがとうございます。

野口委員長

いかがですか。他に質疑はございませんか。

D委員

今の学び支援課の評価、例えば、「文化の薫り高いまち」を目指していますが、「芸術活動の推進」をC評価としています。非常に厳しい。今、コロナ禍でもあり、なかなか思うようにできないところがあると思いますが、いよいよ人生百年時代になって、健康寿命を延ばそうという中で、スポーツや文化活動など、どのような活動をするかということが重要になってきます。今後の方向のところに展示室設置の話が書いてありますが、私が要望するのは情報発信です。白岡市の中にはいろいろな団体があるので、活動内容など、活動に加入するきっかけになるような情報をどんどん発信していただきたい。残念ながら文化団体連合会においては、情報発信力が弱いです。今、文団連便りの配布を予算もいただいて実施していますが、個々の加盟団体は横の連携が実際としてはなく、ただ単に文化活動をしている状況です。それを市としてはどういう方向にもっていきたいのか。もっとレベルを高くするような支援をすとか、あるいは活動に入りやすくなるような手伝いを、インターネット等を利用して行うといったことも重要ではないでしょうか。そして、その事務局的な役割を文化団体連合会自身が担っていますが、これについて私自身は違うのではないかと考えています。市がどのような方向を目指すのか。音楽を強化したい、あるいは絵画等を強化したいなど、いろいろな考え方があると思います。それから、活動に参画できる人が増えて、活発になれば良いと思っています。事務局的な機能については、ぜひ市の方である程度のところ御支援いただければ大変ありがたいと思っています。

野口委員長

御意見を頂戴いたしました。他に何か御質疑ございますか。よろしいですね。それでは質疑なしと認めます。続きまして、第3期白岡市教育振興基本計画に関して意見交換です。事務局より本会議の資料配布に併せて、「第3期白岡市教育振興基本計画に関する意見書」の作

成の依頼がきましたが、皆様、各自で作成していただいた内容について、簡単に白岡市の教育に不足していると感じている点や、第3期白岡市教育振興基本計画に盛り込む必要があると考えている点について、発表をお願いいたします。

D 委員

質問1については、人生を時間軸で捉えたライフプランニング能力、これの付与を進めていただきたい。それから質問2については、先程来も申し上げました学校教育においてGIGAスクール構想の推進で、ソフト面と指導体制をしっかりと構築していただきたい。それからコミュニケーション能力については、先程申し上げました。問題発見し問題解決能力を付与すると、ここが最終目的になる。三つ目、自由意見については、先程申し上げた、市主導による文芸活動の評価ということで、方向性と情報発信を強化していただきたい。最後ですが、図書館機能が大きく変化しています。まだ、出来上がったばかりですけれども、図書館は要らないという考え方も出ています。情報化が進むと、電子化が可能になるため、図書館にいっぱい蔵書しても、あまり必要性がない。地元の情報だけに限った方が良いのではないかという意見もあるほどです。ですから、そこへの対応をなるべく早く、進めていただきたいと思います。

F 委員

質問1ですが、教育費が少ないと個人的に感じたので書かせていただきました。質問2の盛り込んでいくべきと考える点ですが、スクールカウンセラーについてです。コロナ禍ということもありまして、子供たちのメンタル、心のケアという部分を考えていただければと思います。自由意見に関しましては、私、現役のPTA会長なので、学校等の校舎の老朽化問題、それから安全安心な学校という点で、一か所しかない正門から教職員が車で出入りし、子供たちもそこから登下校するという状況を改善できればと思います。もう一つはICT教育、GIGAスクールに関しまして、子供に一台ずつ、タブレット端末を無償で配布していただきました。子供たちはそれを使って授業等を行っていますが、実際にタブレット端末は、学校でしか見られないの

C 委員

で、それにリンクさせた形の自然体験学習というか、実際に調べたことをどうやって、この子供たちの教育計画に生かしていけるのかなというところを考えていければと思います。

今、白岡市の教育に必要なものは人権教育だと思います。個人の尊厳を知るという教育が必要ではないでしょうか。先程も申しましたように、ソーシャルワーカーがいるのですから、ノーマライゼーションの理念というのは、障害をもっている、もっていないにかかわらずすべての人に当てはまる訳ですから。ぜひ、人権教育というのをもっと重きにおいていただきたいと思います。それから、白岡市の教育計画に盛り込んでいくという点で考えれば、ジェンダー平等、LGBTをはじめとするマイノリティと共存する努力というのをしっかりと明文化していく、そしていじめを防止していくということが必要ではないかと思います。あと自由意見ですが、スクールソーシャルワーカーは本来ならば自由に学校にいつでも入って生徒と接することができるはずです。それを保証していただきたいというか、そういう位置づけにしていきたい。教育センターにこもっているだけではソーシャルワークにはなりません。もっとアクティブなソーシャルワーカーの使い方、県からも市からも予算が出ているのでしたら、上手いこと利用していただきたいなと思います。私も、もし今年度許されるのであれば、策定委員としてソーシャルワーカーと話をしてみたいと思っています。

もう一つ、この第2期白岡市教育振興基本計画の29ページにPDCAという、この順番に従ったマネジメントサイクルがありますが、大きな間違いがあります。まず、プランありきになっています。最初にプランありきだったら絵に描いた餅になってしまいます。ですから、これは非常にまずい。まず何が重要かという、マネジメントの基本、常識としてアセスメントをしていかなければなりません。アセスメント、学校のアセスメント、そしてそこからニーズ、問題を発見していきます。その中でこれはもう継続しなくてもいいという結果も出てくると思います。そしてニーズの発見ができて、プランの優先順

位ができ、決行をしていくD o ですよ。そして再度、アセスメントをする。それがこの会議になってくるかもしれませんし、もう一つ別の会議になってくるかもしれません。それで初めて新しいプランが出来てくるのではないかと思います。また、私は今日の法律にのっとって策定するというだけでは、面白みもないプランになると思います。ですから、県、市も、それぞれの計画とあわせて、一緒に面白いものを作っていけたらと思います。

E 委員

今後盛り込んでいくべき点として、今、社会問題化している子どもの貧困などに起因する就学困難者への対応を新しく加えていただければと思います。もう一つはコロナ等に関する危機管理の対応について、例えば、どういった状態になったら学校を休みにするのか、部活を休みにするのかということを考える必要があると思います。生涯学習施設にしても、どういった状態になった時に開くのか、閉館するのかが今後も出てくると思うので、そういった危機管理についての要件を入れていただければと思います。

B 委員

不足しているものとしては、G I G A スクールがこれからどんどん進んでいく中で、その前の段階として子どもたちの携帯の使い方についてです。これについて、白岡市では携帯の使い方について三年前から基本計画で出していますが、子ども、親、そしてお年寄り、お年寄りについては例えば今回の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を予約するとか、そういう部分でもやはりスマホを使った方がいいということがありました。以前は学校の考え方は、どちらかというと、親が渡すから、親の責任で全部やりなさいというふうに、私がP T A 会長をやっていた頃は言われていたのですが、もうそういう時代ではないと思いますので、機械を子どもたちに使わせるという部分も含めて、保護者も子どもたちも全世代のスマホの使い方というのを加えていただければありがたいなと思います。それとコミュニティスクールが、来年度より市全体にできると聞いています。地域密着ということですが、白岡市全体で実施することを考えると、コミュニティスクー

ルの横のつながり、コミュニティスクールの協議会とか、そのような形で情報共有しながらできればいいのかなと思います。質問の二番目のところですが、最近流行りと言えは怒られますけれど、この辺の地域でも各市でSDGsの理念にのっとった基本計画ができていると思います。その辺も参考にしながら作ってみてもいいのかなと思います。

G委員

この白岡市に住んでいる方々が、ここで勉強して、ここで働いて、ずっとここに住んでいきたいなと思っていただけるような教育を行うにはどうしたらいいのだろう、と思っています。今、白岡市はベッドタウン化していて、子どもたちに白岡市のどこが好き？というような質問を投げかけても、白岡市にある文化財などについてはまったく知りません。文化財の学習などをもっと学校で実施するなど、白岡市自体を好きになってもらい、生涯ここ白岡に誇りをもって住んでもらえるような生涯を通じた教育活動を今後は考えていけたらいいのかなと思っています。あと、今、コロナ渦ということで、子どもたちの体力の低下がとても気になっています。GIGAスクール構想も始まりましたが、新型コロナウイルス感染症以外でも非常事態時に学習の支援など必要な体制を整えるためにも、学校と地域と家庭がより連携していく必要があると思うので、コミュニティスクールにも注目していきたいと思っています。

H委員

学校職員の話になりますが、今学校の方では団塊の世代の職員が抜けまして、20代、30代の職員がかなりの割合を占めている状況にあります。もちろん、能力的には優秀な人が多いのですが、経験が足りないところがあります。併せて今回のGIGAスクールの関係もあり、子供に一人1台端末が渡されている状況が急速に進みましたが、職員の準備がまだ整っていないところがありますので、当面として職員の研修の機会の充実を重点として入れてもらったらいいのかなと思っています。少し話が変わりますが、保護者の方で非常に学校に協力的な方が沢山いますが、親御さん同士の横のつながりは少し弱

いのかなと感じる場面があります。学校の中でもPTA活動とか色々機会があると思いますが、併せて学校を離れた子ども会などで親御さん同士の横の連携を検討していくのが良いのかなと思っています。

A 委員

まず私はここにいますすべての方々にお詫びしたいと思います。というのは意見書、資料をお配りいただいた時に意見交換するということを考えていなかったものですから、別紙のとおりとしてA4のペーパー4枚に書いてしまいまして、すべて、白岡市の教育委員会に厳しいことしか書いていないのです。したがって、この場で申し上げるのは差し控えたいと思います。多分私は白岡市教育委員会を出入り禁止になると思います。ただ一つ申し上げたいのは、これは意見なので、多分そうならないだろうと思いますが、今回の計画を立てるにあたって三つの柱を踏まえていただくのはいいのですが、踏襲はしていただきたくないと考えています。

I 委員

私はこの振興基本計画の意見書に書いた項目とは少し違う項目、一点だけお話しさせていただきます。私は今、白岡東小学校で下校時の見守り隊をやらせていただいています。低学年、1年生、2年生が帰ってくる時間に通学路で立って見守りをしていると、子供たちは非常に元気に「こんにちは」とか「ありがとうございます」とか声をかけてくれます。ところが途中で迎えに来た保護者や、途中で会う大人たちからは残念ながら挨拶もない。私は子供たちにとって最大の教育環境は、大人たちだと思います。だから、子供たちを良くしていくためには大人たちが変わらなきゃいけないと思います。

野口委員長

皆さん大変貴重な意見ありがとうございました。それでは最後になりますけれど私の考えを申し上げます。私、教育というのは非常に大事なことですけれどもそれよりも何よりも親と子のつながり、家族の連携を大事にしたいと思っています。それで、私、「町ぐるみん白岡」という事業ももっています。先ほど、委員からのお話に保護者の横のつながりが希薄だということがありました。今は新型コロナウイ

ルス感染症の関係でできていませんが、「町ぐるみん白岡」では、各学校の学校応援団、おやじの会の皆さんに集まっていただいて、各学校の様子等に関する意見交換会を行っています。良いと思うところは取り入れて、出来ることをやっていくという和やかな会です。そういうことを通して、保護者の横のつながりを持ちたいと思っています。それから、「町ぐるみん白岡」では「わいわいコンサート」という事業も実施していますが、こういう事業によって、親御さんと子どものつながり、また、各学校同士の親御さんのつながりを持てるようにしています。そういうことをやると他の市からも参加してくれるのです。残念ながら今は場所などの都合からできていませんが、方法を変えて今年も実施したいと思っています。それからもう一つ、森の掃除をしました。これは小学生から高校生までと一緒に森を掃除して、そのあとおにぎりや焼き芋を食べるというタテの連携につながる取組です。親子のつながり、ご近所とのつながりは学校の教育、授業よりも大事な教育だと私は考えています。そういう連携を持っていきたいということで事業を様々行っていますが、今年度は出来なくて残念に思っているところです。

自由意見としては、できれば白岡に大きな体育館を作っていただいて、市の総合クラブを作ってもらいたい。お父さんでも、お母さんでも、小さなお子さんでも、そこへいけば自分の好きなスポーツができる。しかし、残念ながら白岡にはそういう施設がありません。総合運動公園はあり、トイレもあるのですが、小さい子の遊び場がありません。今、市の予算から見てみると、無理なのです。私、七十年白岡に住んでいますが、駅前の整備ができていません。七十年前と比べて変わったのは、道路が舗装されたことと交番が右から左へ移ったことです。それ以来、ちっとも変わっていません。かつて、駅前の小さな小道は白岡銀座通りと言いました。魚屋さん、八百屋さんがあり、パチンコ屋があり、お風呂屋さんもあり、と全部揃いました。今はそれも、何もなくなって、商店街も活気がありません。そういう町中に住んでいまして、私は七十年、何も変わってないなと思っています。

今日皆様から貴重な意見を頂戴いたしましたし、これからこの会議

は楽しみです。なんとか皆さんで頑張って、いい意見を市に挙げたい
と思います。ご協力ありがとうございました。以上で、すべての会議
案件が終了いたしました。それではこれで、議長の職を退かせていた
だきます。皆様御協力ありがとうございました。

事務局

8 事務連絡

- ・ 次回の開催日程について
- ・ 承諾書の提出について
- ・ 報償金について

事務局

9 閉会

事務局により閉会する。